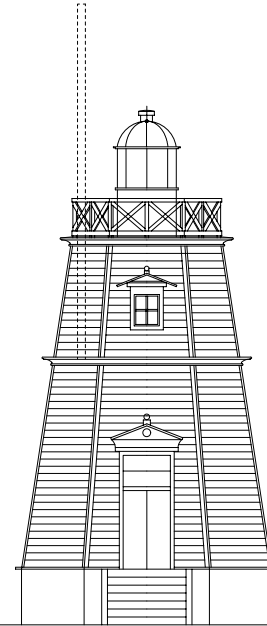


境港灯台（初代） 1 / 2

灯台姿図



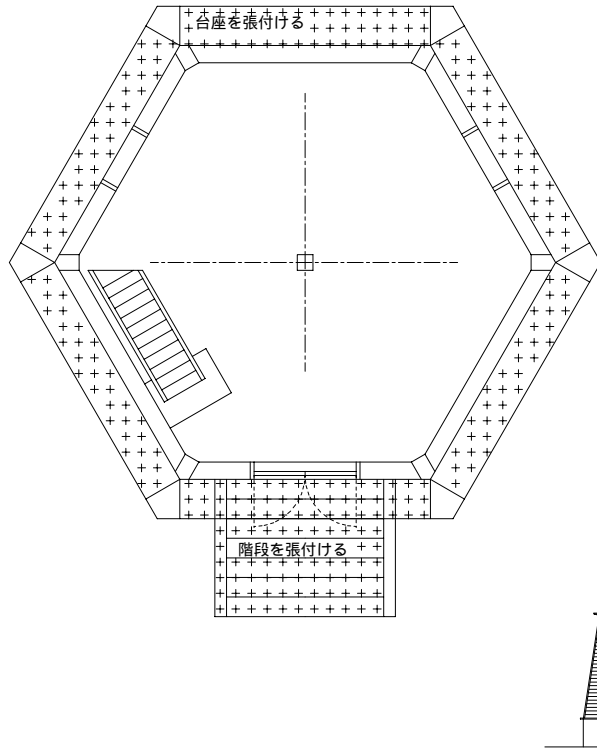
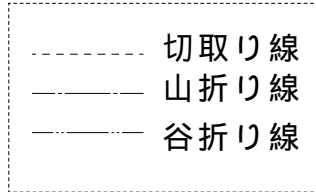
組立て方

1. 折り線部は前もってしごいておく
2. 切り取り後各パーツの形を整える（丸みを付ける）
3. 筒状の部品は組み立て前に筒状に張付ける
4. 灯ろうを組立て地覆に張付けるーパーツ1
5. 灯塔を組立て台座に張付ける
6. 灯塔上部に踊り場を取り付ける
7. 台座を台紙に張付ける
8. 屋根及び入り口を建物に張付ける
9. 踊り場上に胴壁およびパーツ1を張付ける
10. 完成

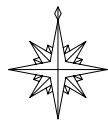
綿棒のしんを利用して旗竿を付けるとかっこいいよ！

ようじの穴、綿棒の穴は切り込み前に明けておくといいよ。

ひさは内側の切り込みを入れ、仮折りしてから外周を切るといいよ。



酒田灯台（初代）と同形



明治期に建造された灯台 M 2 8 木造
ペーパークラフト NO.143

境港灯台（初代）sakai S,1/100

伯老国境港口 N 35-33 E 133-14

灯台の大きさ等（明治44年3月 航路標識便覧表）

高さ：建物 12.2m (40ft) 光り 水面から15.2m (5丈)

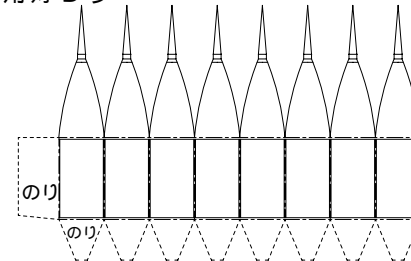
灯塔の太さ：木造六角形 3.3m

光りのとどく距離：9.0海里（約16km）

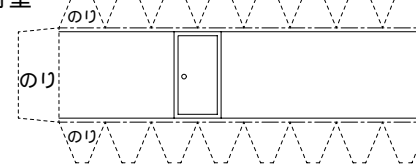
光りかた：白色 不動光

設置年月：明治28年11月 日

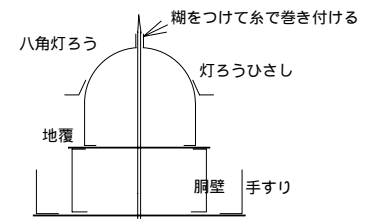
八角灯ろう



胴壁



折り曲げ方

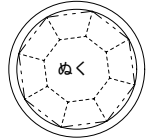


ようじを一本準備してね！

地覆

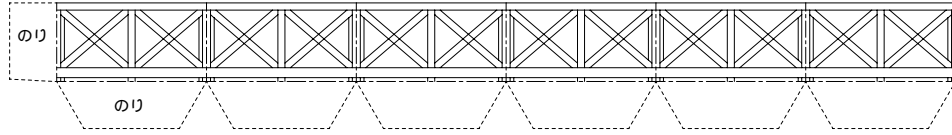


灯ろうひさし

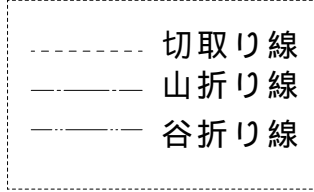
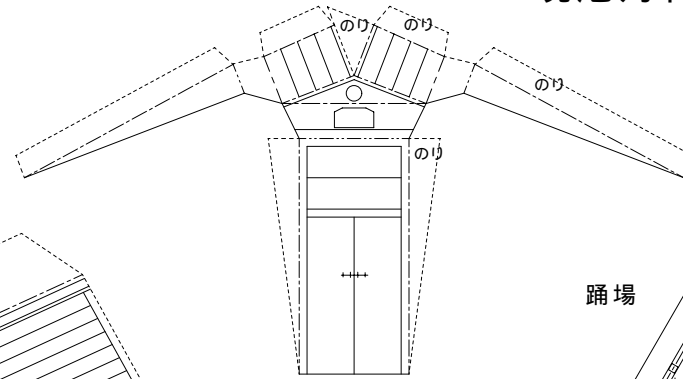


うら面に糊をつけ灯ろうに張付ける

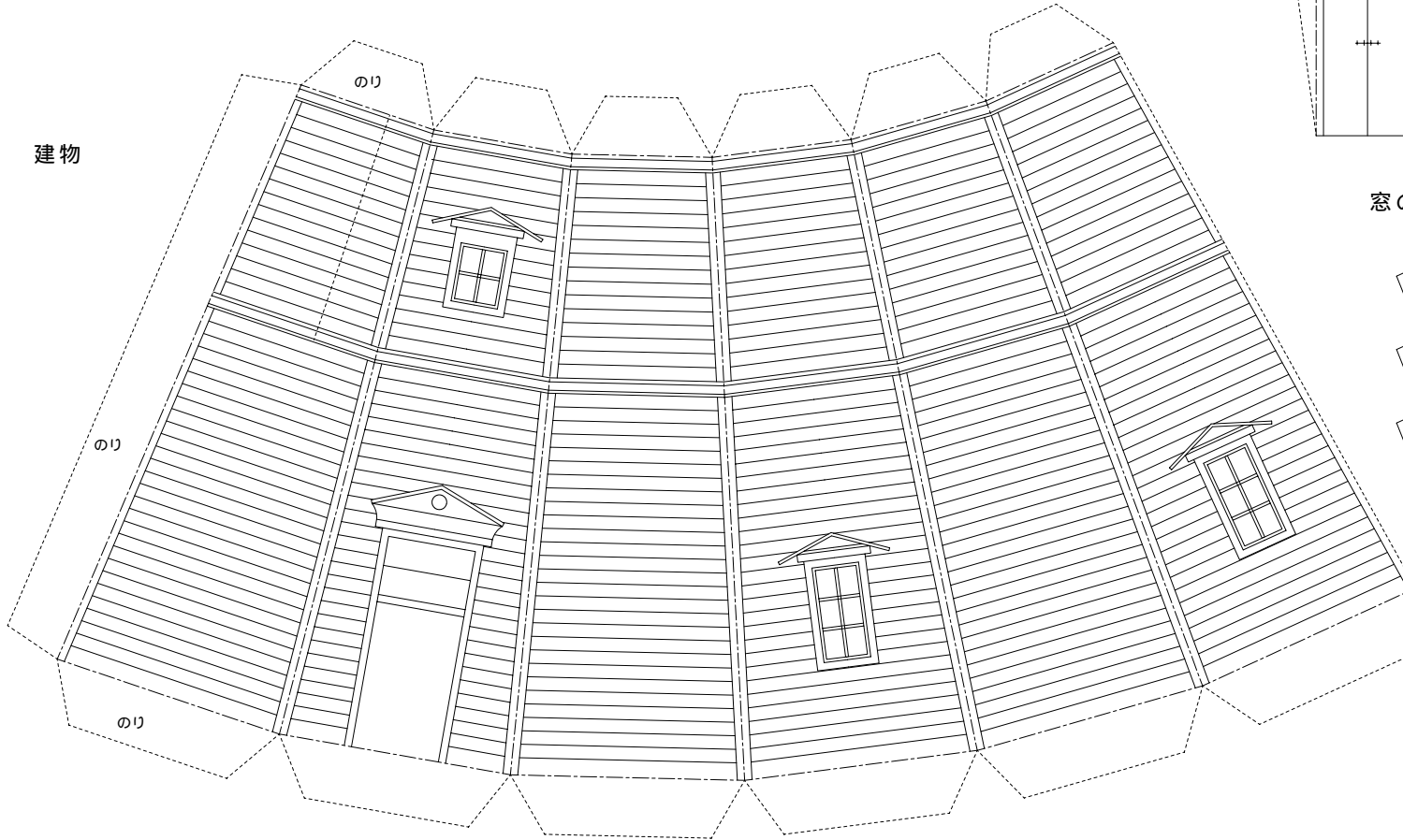
手すり



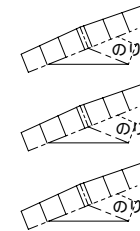
入り口



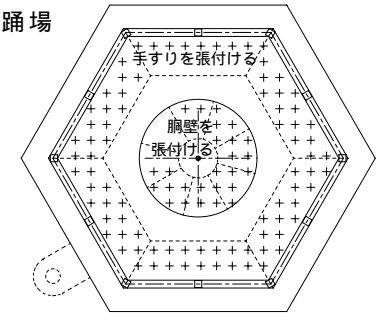
建物



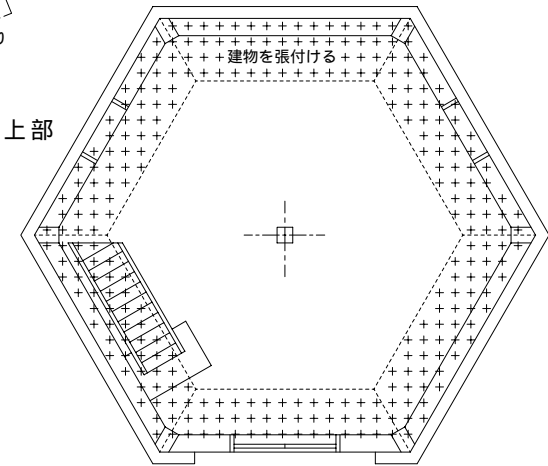
窓の屋根



踊場

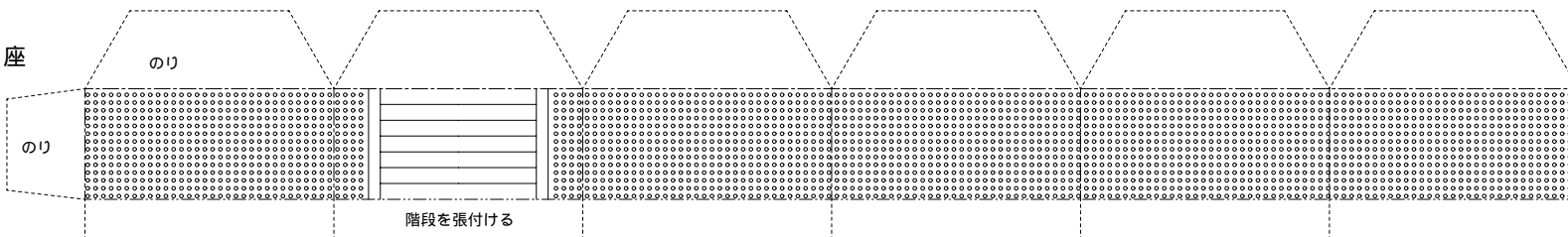


旗竿の支持部



台座上部

台座



裏に糊をつけて台紙に張付ける

階段

